

「SGH講演会 意見交換会」を開催しました！

6/22(月)から26(金)に、長崎大学より7名の講師の先生をお招きし、「長崎から地球規模の課題について考える」をテーマに、SGH講演会・意見交換会を開催しました。高校1年生の各研究班は、自分たちの研究視点に類する領域を研究されている先生を選び、専門的なお話に熱心に耳を傾けていました。各先生方のお話には、「一つの問題を様々な視点から考えることの重要性」が込められ、「困っている人々のために研究を続ける」崇高な姿勢が感じられました。講演会の後は、多くの質問が寄せられ、プロの先生方からは専門的な見地からとてもわかりやすいご回答をいただきました。多くの生徒が、「大学で高度な研究を進めるためには、知識をもっと豊富にし、基礎的な学力を高める必要があります」と話していました。

視点	講師	演題
水	濱崎宏則准教授(環境科学部)	「世界の水危機とアジア、そして日本 ～A small action can change our environment!」
平和	鈴木達治郎センター長 (長崎大学核兵器廃絶研究センター)	核兵器廃絶に向けて～主要な課題とRECNAの取り組み～
平和	滝澤克彦准教授(多文化社会学部)	長崎とモンゴルから考える宗教と平和 ーフィールドワーク経験を通してー
水	埴田彰秀教授(工学部)	長崎県内の閉鎖性水域で生じている水環境問題について
医療	中尾一彦教授(医学部)	海外医療支援について
医療	森田公一所長(熱帯医学研究所)	熱帯感染症の現状
水	松下吉樹教授(水産学部)	海と魚とわたしたち



核兵器廃絶研究センター長 鈴木教授のご講演



熱帯医学研究所長 森田教授と意見交換



工学部 埴田教授のご講演



水産学部 松下教授と意見交換